

建築物名称	(仮称)天間特殊製紙 入山瀬倉庫新築工事
受付日	令和5年1月24日
建物所在地	富士市入山瀬字清水久保697-1、天間字東耕地340-1、官地(取得予定)
構造規模等	鉄骨造／地上1階／延床面2, 882. 36平方メートル／新築
建物用途区分	工場
建築主	天間特殊製紙株式会社 代表取締役社長 金子 武正
工事完了予定日	令和5年10月20日

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

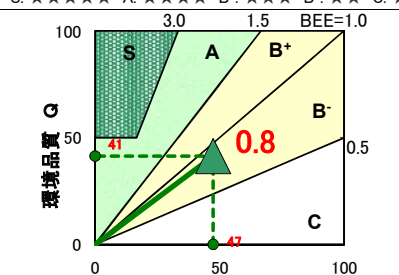
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)天間特殊製紙入山瀬倉庫 新築工事		階数	地上1F
建設地	静岡県富士市入山瀬字清水久保697-1、天間字東耕地340-1、官地[取得予定]		構造	S造
用途地域	第一種住居地域と準住居地域、防火地域 指定なし		平均居住人員	5 人
地域区分	7地域		年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月	予定	評価の実施日	2023年1月13日
敷地面積	5,962 m ²		作成者	平柳 雅人
建築面積	2,882 m ²		確認日	2023年01月18日
延床面積	2,882 m ²		確認者	金子 武正

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

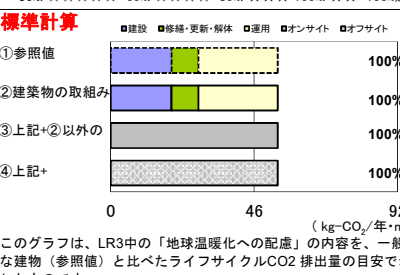


2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

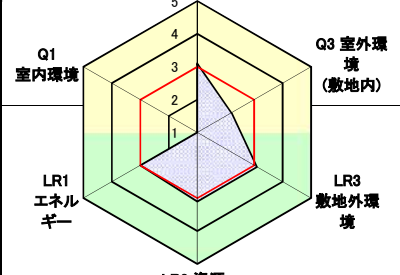
標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

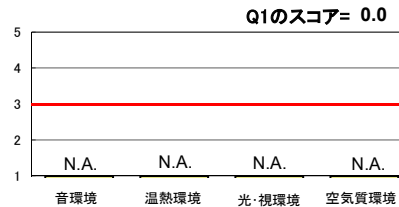


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

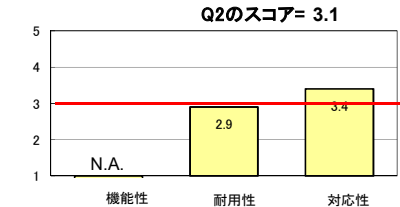
Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0



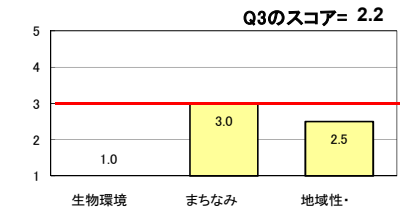
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1



Q3 室外環境 (敷地内)

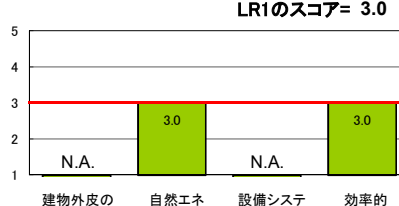
Q3のスコア= 2.2



LR 環境負荷低減性

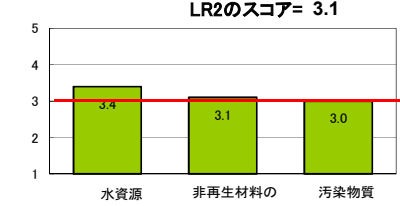
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0



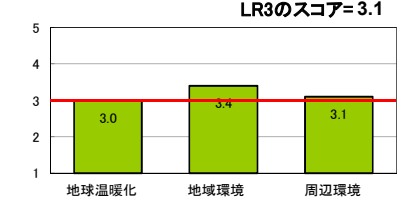
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1



3 設計上の配慮事項

総合	その他
主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。	特になし

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
評価対象外	階高:7.155m。 0.1≦[壁長さ比率] <0.3	特になし

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
評価対象外	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGSを使用している	燃焼機器を使用していない。 屋内照明のうち外に漏れる光への対策している。また、広告物照明は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要										
建物名称	BEE	0.8	BEEランク	B-	★★					
2. 重点項目への取組み度										
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度				評価				
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	2.3	/5					がんばろう			
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.0	/5					ふつう			
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	3.0	/5					ふつう			
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	1.8	/5					がんばろう			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上		ふつう 3 点以上		がんばろう 3 点未満			
3. 重点項目についての環境配慮概要										
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。						内訳対応項目				
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)						得点 2.3				
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④給水VLB(B)、冷媒管(C)、排水VP(B)、Eは不使用。					Q-1 2	2.1	2.1.2	①	外皮性能
						Q-1 3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
							3.2	3.2.1	③	昼光制御
						Q-2 2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
							2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
						2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
						2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔		
						2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔		
						2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔		
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし					Q-3 1			⑤	生物環境の保全と創出	
					3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) 評価対象外					LR-1 1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制	
					2			⑧	自然エネルギー利用	
					3			⑨	設備システムの高効率化	
					4	4.1		⑩	モニタリング	
						4.2		⑩	運用管理体制	
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 ⑫LGSを使用している					LR-2 1	1.1		⑪	節水	
						1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無	
						1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無		
					2	2.1		⑫	材料使用量の削減	
						2.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用	
						2.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
						2.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
						2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材	
						2.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み	
					3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用	
						3.2	3.2.1	⑬	消火剤	
						3.2.2	⑬	断熱材		
						3.2.3	⑬	冷媒		
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし					LR-3 1			⑭	地球温暖化への配慮	
					2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	
”災害に強いしずおか”の形成(Disaster)						得点 3.0				
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし					Q-2 2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性
							2.1.2	⑯	免震・制振性能	
						2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備	
							2.4.2	⑰	給排水・衛生設備	
							2.4.3	⑰	電気設備	
						2.4.4	⑰	機械・配管支持方法		
						2.4.5	⑰	通信・情報設備		
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)						得点 3.0				
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳階高:7.155m。 ㉑0.1≦[壁長さ比率]<0.3					Q-2 1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
						3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり
							3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ	
■室外環境(敷地内)対策 (㉒地域性・アメニティへの配慮) 特になし					Q-3 3	3.1		㉒	地域性への配慮・快適性の向上	
”緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)						得点 1.8				
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし					Q-3 1			⑤	生物環境の保全と創出
						2			㉓	まちなみ景観への配慮
						3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし					LR-2 2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材	
					LR-3 2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	